

ダクト用システム部材
天井埋込形グリルサイレンサー
形名

P-18GS₃・P-23GS₃

P-18GSF₃・P-23GSF₃ (フィルター付)

取扱説明書 (据付説明書付)

このグリルサイレンサーは、中間取付形送風機の給排気口に据付けて使用するものです。

- 据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付けは販売店・工事店さまが実施してください。
- 接続ダクトは製品のダクト口径に合った塩化ビニール管、アルミフレキシブルダクト、鋼板管のいずれかをご用意ください。




据付け終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

安全のために必ず守ること

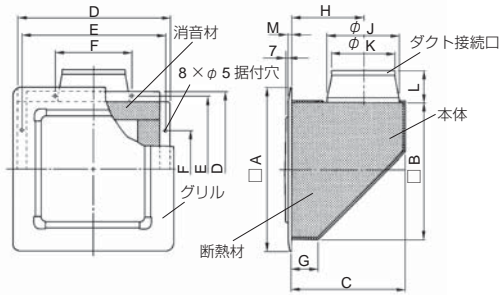
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で説明しています。

 注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は足元が不安定な状態でグリルの着脱を行わない (足元が不安定な状態での作業はけがの原因) 	
 指示に従い必ず行う	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の据付けは、十分強度のあるところを選んで確実にを行う (落下によるけがの原因) ● グリルの取付けは確実にを行う (落下によるけがの原因) ● 据付けやお手入れの際は、手袋を着用する (着用しないとけがの原因) ● 据付けやお手入れの際は、必ず接続されている換気扇を停止してから行う (運転状態での作業はけがの原因) 	

据付け・取扱い前のお願い

- 高温 (40℃以上) になるところに据付けしないでください。(グリルが変質することがあります)
- 台所など油煙のかかるところに据付けしないでください。(グリルが変質することがあります)
- グリルには物をかけないでください。(グリルが落下することがあります)
- スプレー (殺虫用・整髪用・掃除用など) をかけないでください。(グリルの変質の原因になります)

外形寸法図



■ 変化寸法表 単位 (mm)

形名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	質量 (kg)	ダクト口径
P-18GS ₃	360	300	250	340	320	170	60	160	160	142	70	8	2.9	φ150
P-18GSF ₃													3.4	
P-23GS ₃													4.6	
P-23GSF ₃	440	380	355	420	400	200	120	200	208	192	85	9	5.3	φ200

付属部品

ダクト接続口	1 個	木ネジ	8 本	天吊金具	2 個
取付ネジ (ダクト接続口取付……4本 天吊金具取付……4本)	8 本	グリル	1 個		

据付方法

1 吊りボルトの埋込み

左図の寸法で市販の吊りボルト (M8) を埋め込む。

2か所×12×52長尺

単位 (mm)		
形名	A	B
P-18GS ₃ ・18GSF ₃	334	305
P-23GS ₃ ・23GSF ₃	414	250

2 天吊金具・ダクト接続口の取付け

付属の取付ネジで、付属の天吊金具とダクト接続口を本体に取付ける。

据付方法 つづき

3 本体の据付け

- ダクト接続口を送風機などのダクト接続口に向くよう据付方向を決める。
- 本体が水平になるよう吊りボルトに天吊金具を通し、市販のワッシャー・ナットで固定する。

4 ダクトの接続

- ダクトをダクト接続口に差し込んで風漏れのないよう市販のテープでテーピングをする。
- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊す。

5 据付枠の組立て・天井板の張付け

- 内寸が左図の A 寸法となるよう据付枠を組立てる。なお、据付枠の高さ寸法は天井材を含めず 25mm 以下のものを使用する。(ダクト接続口が取付けられません)
- 付属の木ネジ (8 本) で本体を確実に据付枠に据付ける。
- 天井板を張り開口部 (左図の B 寸法) を設ける。

単位 (mm)		
形名	A	B
P-18GS ₃ ・18GSF ₃	310	305
P-23GS ₃ ・23GSF ₃	390	385

6 フィルターの取りはずしかた

GSF₃ タイプはフィルターをはずす。

- フィルターはフィルターの枠を持って矢印の方向へ軽く押し下側に引いてははずします。

15mm を超え 45mm までの場合

バネ取付板の調整

- グリルの取付けは、天井材の厚さに応じてバネ取付板の調整が必要です。
- 左図のように、バネ取付板の下端面が天井材下面から 45mm の位置になるよう、必ずスケール等を使用してはかります。
- バネ取付板のネジ 2 本 (左右) をゆるめスケール等を使用して左図の方法で位置を決めネジを締め付け固定する。

45mm を超え 80mm までの場合

お願い

- バネ取付板のネジ 2 本 (左右) を一旦はずし下側取付用穴に付け替え、スケール等を使用して左図の方法で位置を決めネジを締め付け固定する。
- バネ取付板の取付けには必ずスケール等を使用して確実に取付けてください。(取付けが不十分ですと落下・風漏れの原因になります)
- バネ取付板 2 か所の調節は同一にしてください。

8 フィルターの取付け

GSF₃ タイプは元通りフィルターを取付ける。

9 グリルの取付け

- グリルの内側にテープ止めされているチェーンのテープをはがしバネ取付板の穴に左図のようにフックを引掛ける。
- グリルの両側に付いている 2 つのバネを両手でつかみバネ取付板の長穴に差し込み、手を放し軽くグリルを押し取付ける。

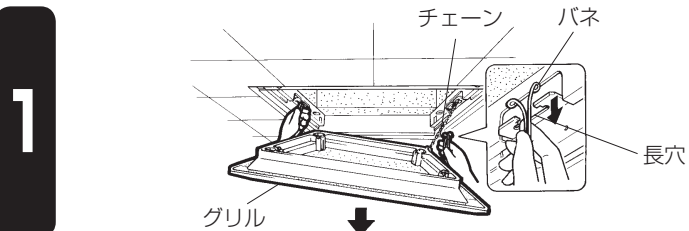
お手入れ

グリルの吸込口にほこりなどが付着すると風量低下や異常音発生の原因になります。約3か月に1度を目安としてグリルの清掃を行ってください。

⚠ 注意

- お手入れの際は足元が不安定な状態でグリルの着脱を行わない（足元が不安定な状態での作業はけがの原因）
- グリルの取付けは確実に（落下によるけがの原因）
- お手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがの原因）
- お手入れの際は、必ず接続されている換気扇を停止してから行う（運転状態での作業はけがの原因）

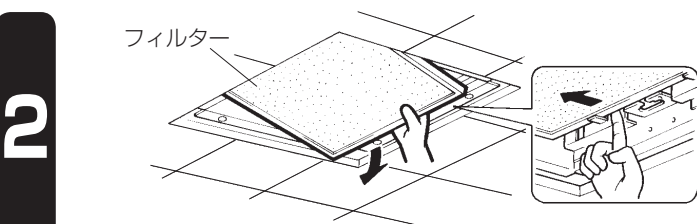
各部品の取りはずしかた



グリルをはずす

グリルに付いている2つのバネを両手でつかみ本体内部の長穴からはずす。

（落下防止のためチェーンが取付けてありますが十分注意してグリルを取りはずしてください）



フィルターをはずすGSF₃ タイプ

フィルターの枠を持って矢印の方向へ押し下げて下側に引く。

フィルターの清掃GSF₃ タイプ

フィルターを軽く手でたたか掃除機でホコリを吸取ります。汚れのひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯（40℃以下）に浸して汚れを落してからきれいな水で押し洗いをし、よく乾かします。（水洗いによる清掃再生回数は5～6回です。それ以上になったら新しいフィルターと交換してください）

お願い

- 熱湯で洗ったり、もみ洗いや火で乾かすことは絶対に行わないでください。

グリルの清掃

グリルの汚れは、ぬるま湯（40℃以下）に浸した布をかたくしぼってふきます。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ります。

お願い

- お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。
シンナー・アルコール・ベンジン・ガソリン・灯油・スプレー・アルカリ洗剤・化学ぞうきんの薬剤・クレンジー等けんま材入の洗剤（変質・変色する原因になります）

お手入れ後の取付けと確認

お手入れが終わったら、取りはずしと逆の順序で取付け、グリルが確実に取付けてあるか確認してください。

アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談はお買上げの販売店か下記窓口にご相談ください。

■ご相談窓口 平日 9:00～12:00 13:00～19:00（土・日・祝・弊社休日以外）

三菱電機 換気送風機技術相談センター 電話：0120-726-471（無料）

上記以外の時間帯

三菱電機 お客さま相談センター 電話：0120-139-365（無料）

※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号